

●今月の『ポピー』の算数で学習するおもな内容と大切なことがらです。 □の数字は、教科書のページ数です。

1年 | いくつと いくつ □31~39

- 10までの数の合成・分解の勉強をします。

「10はいくつといくつに分けられるか」「いくつといくつで10になるか」を考えることは、6月から始まるたし算やひき算の基礎になる大切な勉強です。10個のあめを用意し、片手のあめを見せてもう一方のあめの数を当てさせるゲームなど、お子さんが興味を持つように工夫しましょう。



慣れるまでは、おはじきなどの「物」をさわりながら考えましょう。

2年 | 2けたの ひき算、長さの たんい □33~57

- 2けたの数のひき算の筆算ができるようにします。

$$\begin{array}{r} 3 \\ 45 \\ - 18 \\ \hline 27 \end{array}$$

- ① 位をたてにそろえて書く。
- ② 一の位の計算
5から8はひけないので、十の位から1くり下げる。
 $15 - 8 = 7$
- ③ 十の位の計算
十の位は1くり下げたので3。
 $3 - 1 = 2$
- ④ 答えは27。

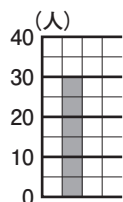
くり下げた後の数を書く習慣をつけよう。



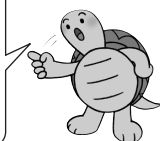
- 長さの単位「cm」、「mm」を習います。

3年 | ぼうグラフと表、わり算 □39~66

- 調べたことをわかりやすく整理し、表に表したり、ぼうグラフに表したりできるようにします。



1目もりの大きさに注意！
左のぼうグラフでは、
1目もりは5人、
ぼうの長さは
30人を表しているよ。



- わり算の意味を知り、わり算の答えがもとめられるようにします。

$$12 \div 3 = 4$$

〈12個を3人で同じ数ずつ分ける〉

○○○○|○○○○|○○○○

〈12個を1人に3個ずつ分ける〉

○○○|○○○|○○○|○○○

4年 | わり算の筆算、角度 □30~56

- 2けた÷1けた、3けた÷1けたのわり算の筆算ができるようにします。かけ算九九を何度も使うので、まちがえないように注意しましょう。

〈計算のしかた〉

$$\begin{array}{r} 65 \\ 9 \overline{) 585} \\ \underline{54} \\ 45 \\ \underline{45} \\ 0 \end{array}$$

- ・ $58 \div 9 = 6$ あまり4
- ・ $45 \div 9 = 5$

たてる→かける→ひく→おろすの順に計算しよう。



- 分度器を使って角度をはかったり、角をかく練習をし、三角じょうぎの角について学習します。

5年 | 小数のかけ算、体積 □35~62

- 整数×小数、小数×小数の筆算ができるようにします。

ポイント

- ① 小数点がないものとして計算する。
- ② 積の小数点は、かけられる数とかける数の小数点の右にあるけた数の和だけ、右から数えてうつ。

- 公式にあてはめて、直方体や立方体の体積が求められるようにします。

直方体の体積＝たて×横×高さ

立方体の体積＝1辺×1辺×1辺

ポイント

長さの単位が違ふ場合は、単位をそろえてから計算します。

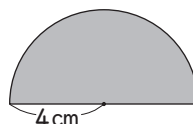
6年 | 円の面積、文字を使った式 □39~56

- 2つの数量の関係を、xやyなどの文字を使って表す式について学習します。

$$\begin{array}{c} 3\text{cm} \quad \text{面積} y\text{cm}^2 \\ \quad \quad \quad x\text{cm} \end{array} \quad 3 \times x = y$$

- 円の面積の求め方を学習し、それを発展させて、円を2等分や4等分した図形を組み合わせた図形の面積を求める学習をします。

円の面積＝半径×半径×円周率(3.14)



$$\text{面積} = 4 \times 4 \times 3.14 \div 2$$